

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心の物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション; 作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」; 連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1; 形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2; 正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3; 色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力; 色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1; 同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2; 同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1; 絵画に問題はありますか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2; 何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画; イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』(共著)その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な答だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術(上)。		
6	語り掛けることと芸術(下)。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
合格:(100～95:A+ 94			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。			
【講義概要】			
日本の伝統木版の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①(版の表現)		
2	版画よもやま話②(版画の技法)		
3	版画よもやま話③(素材と用語)		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
合格:(100～95:A+ 94			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長(2012-2020年)。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓げることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
合格:(100～95:A+ 94			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語1(アート研究)	蔣 燕萍	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策:N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上			
【講義概要】			
・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	試験
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(アート研究)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分=(1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 :A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留 合格:(100～95:A+ 94～80			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	アート研究コース ・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		総合研究(アート研究)	専任教員	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。				
【講義概要】				
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
なお出席 合格:(100～95:A+ 94				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
<u>山本</u> 哲次、1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。 花王、リソネ銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCLVIのデザインに携わる。 日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務 財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D=8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。				
<u>工藤</u> 礼二郎、1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏 ・パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。				
<u>鈴木 叶志哉</u> 、1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画 協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議・木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。 版画学会会員。				
<u>岡山</u> 拓史、1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務 所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターと して活動中。JAGDA正会員				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	アート研究コース・後期
講義区分	授業科目名		担当教員	単位・時間数
実技	修了制作		専任教員、飯田 淳	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。				
【講義概要】				
修了作品の制作。ポートフォリオの完成。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格：(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格 (59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リソナ銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、New YorkerなどのCLVのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ボスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D=8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。				
工藤 礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリエ アントウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。				
鈴木 吐志哉：1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス、アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2013、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門[SEP]、デザイン事務所[FUTONE]を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員 飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMESCollection Homme Automne-Hiver 2008. INVITATION』のイラストレーション、『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー、『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論(デザインビジネス)	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心の物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション; 作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」; 連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1; 形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2; 正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3; 色彩表現をめぐって		
6	色と構成の力; 色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1; 同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2; 同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1; 絵画に問題はありますか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2; 何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画; イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置: 保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』(共著)その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座(デザインビジネス)	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術(上)。		
6	語り掛けることと芸術(下)。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座(デザインビジネス)	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。			
【講義概要】			
日本の伝統木版画の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①(版の表現)		
2	版画よもやま話②(版画の技法)		
3	版画よもやま話③(素材と用語)		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
合格:(100～95:A+ 94			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長(2012-2020年)。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論(デザインビジネス)	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓げることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語1(デザインビジネス)	蔣 燕萍	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策:N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上			
【講義概要】			
・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	試験
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(デザインビジネス)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分=(1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 :A 79～70:B 69～60:C) 不合格 (59～0:D) 仮処置:保留 合格:(100～95:A+ 94～80			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	デザインビジネス コース・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		総合研究(デザインビジネス)	専任教員	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。				
【講義概要】				
前期本科2、3年のカリキュラム履修もしくは自主研究。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 な出席者が 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
<u>山本 哲次</u> :1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リソな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのGLVのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)/JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。				
<u>工藤 礼二朗</u> :1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。				
<u>鈴木 吐志哉</u> :1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンスアートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)。SUVREMENA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。				
<u>岡山 拓史</u> :1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	デザインビジネス コース・前期
講義区分	授業科目名		担当教員	単位・時間数
実技	研究テーマ制作		専任教員、飯田 淳	16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。				
【講義概要】				
オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が 全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 :A 79～70:B 69～60:C 不合格(59～0:D) 仮処置:保留 合格:(100～95:A+ 94～80				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
山本 哲次:1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リソナ銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、New YorkerなどのCIVIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレトヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。 工藤 利二郎:1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。 鈴本 吐志蔵:1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)他、(社)日本版画協会会員。版画学会会員。 岡山 拓史:1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA正会員 飯田 淳:1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMESCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション、『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー、『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトウーズ』をプロデュース。TIS会員。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画概論	早見 堯	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
絵画は支持体や絵具などの物質でできている。物質に心はない。その物質が私たちの心を揺れ動かす。なぜ？心の物質が感情表現できるのはどうしてなのか。絵画を見ながらこうした謎を考える糸口をつかみたい。			
【講義概要】			
日本その他のモダン・アートや現代美術の作品を画像で映しながら、それぞれの作品がどう見えるのかを理解し、作品がどういうふうになり立っているのかを考えます。そして作品からえられる感覚的なテイスト(味わい)を吟味してみましょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション; 作品を見て「わかる」＝連想する、自分の言葉に置き換えて理解		
2	作品を見て「感動する」; 連想が拒絶されて作品のあるがままの姿を受け入れる		
3	絵画の成り立ち方-1; 形の出現と消滅		
4	絵画の成り立ち方-2; 正面性、平面性、絵画と立体の違い		
5	絵画の成り立ち方-3; 色彩表現をめぐる		
6	色と構成の力; 色彩による表現力、構図による表現力		
7	絵画の表現性-1; 同次元結合と異次元結合		
8	絵画の表現性-2; 同次元結合と異次元結合		
9	美術館のコレクションの作品から・展覧会の作品から-1; 絵画に問題はありますか		
10	美術館のコレクションの作品から-2展覧会の作品から-2; 何が絵画の問題なのか		
11	サステナビリティとしての絵画; イメージとオブジェ・平面性と平面体その他の絵画のキーワードを、作品を見ながら検討		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』(共著)その他。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	絵画講座	宮田 徹也	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
芸術を通じて、人間を知る。己と他者を区別して考え、他者と自己の気持ちを理解し、他者の立場になって自己を考える。人間を知るためには、人文科学、自然科学、科学に定義されていないものも学ぶ必要がある。芸術が、人間を取り巻く事物と事象のどこに位置するのかを確認しなければならない。それを、制作に繋げる。			
【講義概要】			
様々な文献を読んで、考え、意見を交換する。芸術、社会学、経済学、経営学、物理学、宇宙論、量子力学、脳科学、動物行動学、先史学等である。意思が通じるコミュニケーションは、対面でもオンラインでも可能だ。レポートとは課題ではなく、自主的な筈だ。予習、学習、復習は、一生、続いていく。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション。		
2	ハンナ・アーレントの思想と芸術。		
3	佐伯啓思の思想と芸術。		
4	カルロ・ロヴェッリの思想と芸術。		
5	語りかけることと芸術(上)。		
6	語り掛けることと芸術(下)。		
7	ネアンデルタール人とホモサピエンス。		
8	暗黒舞踏という芸術。		
9	楠木建『ストーリーとしての競争戦略』と芸術。		
10	GAFAと5Gとこれからの芸術。		
11	まとめ。		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画講座	今井圭介	1単位 18時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
版画の歴史や世界、様々な技法と表現との関わりなどを学んで版画をより深く理解し、制作等に活かすことができる素地を身につける。			
【講義概要】			
日本の伝統木版の浮世絵はよく知られた版画ですが、日頃使っている紙幣の肖像画が見事な銅版画であるという事はあまり意識されていないでしょう。この講義ではこうした実は身近に存在する版画にも目を向けながら資料や画像、実物を交えて版画について学びます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	版画よもやま話①(版の表現)		
2	版画よもやま話②(版画の技法)		
3	版画よもやま話③(素材と用語)		
4	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり		
5	浮世絵版画②技法と制作システム		
6	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢		
7	日本開国！横浜絵と開化絵		
8	光線画の浮世絵師・小林清親		
9	日本の近代版画と創作版画運動		
10	詩と版画		
11	東京国際版画ビエンナーレと現代版画		
12	時代の寵児・池田満寿夫		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
合格:(100～95:A+ 94			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長(2012-2020年)。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	版画概論	天野純治	1単位 16.5時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拓げることを目標とします。			
【講義概要】			
現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拓げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	授業説明(版表現について)作品鑑賞		
2	作品鑑賞		
3	作品鑑賞		
4	作品鑑賞		
5	作品プレゼンテーション		
6	作品鑑賞		
7	作品鑑賞		
8	作品鑑賞		
9	作品鑑賞		
10	作品鑑賞		
11	作品プレゼンテーション		
【成績評価方法】			
課題の提出を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 ～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・演習形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語1(美術進学課程)	蔣 燕萍	3単位 78時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
①日本語能力試験N1対策:N1の試験に合格できる力をつける。 ②語彙力の向上			
【講義概要】			
・言語知識、読解、聴解の実戦練習。 ・模擬試験。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	模擬試験	19	講義
2	講義	20	講義
3	講義	21	講義
4	講義	22	講義
5	講義	23	講義
6	講義	24	講義
7	講義	25	講義
8	講義	26	試験
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	模擬試験		
15	講義		
16	講義		
17	講義		
18	講義		
19	講義		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100~95:A+ 94~80:A 79~70:B 69~60:C) 不合格(59~0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語2(美術進学)	メロス言語学院講師	1単位 24時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
目上に対する日本語表現とカジュアルな日本語表現の向上を目標として挙げます。			
【講義概要】			
前半90分、後半20分=映像教材を見て、語彙の聞き取り+ディスカッション。 後半70分=(1)会話表現+ロールプレイ(15分) (2)1分間スピーチ(15分) (3)Show & Tell(40分)			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	試験		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 :A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留 合格:(100～95:A+ 94～80			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習1	蔣 燕萍	1.5単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	情報発信・個別面談		
4	情報発信		
5	情報発信・個別面談		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	情報発信・個別面談		
12	課外授業		
13	情報発信・個別面談		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 0:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留 合格:(100～95:A+ 94～8			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	表現演習2	蔣 燕萍	1単位 39時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
思考力、研究テーマをより深く掘り下げ、大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。			
【講義概要】			
それぞれのニーズに合わせて個別対応にてサポートします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、情報発信		
2	課外授業		
3	課外授業		
4	情報発信・個別面談		
5	課外授業		
6	情報発信・個別面談		
7	課外授業		
8	情報発信・個別面談		
9	課外授業		
10	情報発信・個別面談		
11	課外授業		
12	情報発信・個別面談		
13	課外授業		
【成績評価方法】			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現1	蔣 燕萍、中田真梨子	2単位 57時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
【講義概要】			
研究計画書、小論文、志望理由書などの書く添削授業。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	18	講義
2	講義	19	発表
3	講義		
4	小論文		
5	小論文		
6	講義		
7	講義		
8	小論文		
9	講義		
10	研究計画書		
11	小論文		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	研究計画書		
16	小論文		
17	講義		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。 蔣 燕萍:中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。 中田 真梨子:学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大用語」を担当。			

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	文章表現2	蔣 燕萍、中田真梨子	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
研究計画書、小論文、志望理由書などを書く添削授業。			
【講義概要】			
文章の練習・添削を通じて、小論文、研究計画書、志望理由書などの上達を期待します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション、研究計画書		
2	小論文		
3	面接対策		
4	模擬小論文		
5	小論文		
6	面接対策		
7	面接対策		
8	小論文		
9	面接対策		
10	面接対策		
11	面接対策		
12	面接対策		
【成績評価方法】			
試験を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義・ディスカッション及び演習形式を基本とする。			
蔣燕萍:中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。 中田真梨子:学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士後期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。創形美術学校で「文章表現」を、すいどーばた美術学院で「多摩美大国語」を担当。			

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程絵画専攻分野・前期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		絵画造形総合研究ゼミ1	工藤礼二郎、山本 晶、山口 藍、川邊真生	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。				
【講義概要】				
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
工藤礼二郎：1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。 山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展『ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。』山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパネルを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。川邊真生：1992年青森県生まれ。2016年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻首席卒業。2018年同大学大学院博士前期課程美術研究科絵画専攻油画研究領域修了。千代田美術指導学院で留学生を対象とした美術講師として勤務する傍ら、作品を制作する。主に東京で個展・グループ展を行う。				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程絵画専攻分野・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		絵画造形総合研究ゼミ2	工藤礼二郎、山本 晶、山口 藍、川邊真生	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、志望校に対応できる作品制作及び受験用ポートフォリオの充実を目指す。				
【講義概要】				
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
工藤礼二郎：1964年大阪府生まれ、1990年創形美術学校造形科卒業、1991年同校研究科絵画造形課程修了、1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在、東京・大阪・パリで個展(ギャラリー現、ギャラリーエアンドウ等、多数)その他グループ展多数。無所属。 山本 晶：武蔵野美術大学大学院修了、文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシッ、主なグループ展『ART TODAY 2004』[VOCA]。主な個展『ギャラリーエアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。』山口 藍：1977年東京都生まれ。現代美術作家。日本の伝統美術、特に江戸時代の風俗や文化にインスパイアされながらパナールを毛布と綿布でくるんだ『ふとんキャンバス』など、独自の支持体を用いて新たな美人画を制作している。国内のみならず海外での活動も多数。川邊真生：1992年青森県生まれ、2016年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻首席卒業、2018年同大学大学院博士前期課程美術研究科絵画専攻油画研究領域修了。千代田美術指導学院で留学生を対象とした美術講師として勤務する傍ら、作品を制作する。主に東京で個展・グループ展を行う。				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程版画専攻分野・前期
講義区分	授業科目名		担当教員	単位・時間数
実技	版画総合研究ゼミⅠ		鈴木吐志哉 東槌口徹 中村真理 馬場知子 舒顔	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。				
【講義概要】				
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
鈴木吐志哉:1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス、アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)。日本版画協会展(準会員佳作)。飛騨富山現代本版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G. RAFIKA、国際本版画会議-本版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。東槌口徹:1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本県版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007賞上賞(三様)、2009年The 2nd NBG MESITEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞、2015アワガミ国際ミニプリント展大賞、(社)日本版画協会会員。中村真理:1988年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学大学院版画コース修了。2013年日本版画協会第81回版画展山口源新人賞、第39回全国大学版画展収蔵賞、2015年武蔵野美術大学卒業・修了制作展優秀賞、第87回版画展準会員優秀賞(社)日本版画協会会員。馬場知子:1991年女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。1992年同大学研究生修了。2000年文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展(陸地梅太郎賞)、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ(優秀賞)、(社)日本版画協会会員。舒顔:ポストデジタル時代の芸術におけるアイデンティティへの認識を研究している。東京藝術大学版画第一研究室 博士後期在籍中、藝大アーツイン丸の内 2021。伊東順二賞、中国成都市パブリックアートコンペティション 優勝賞、中国第十三回全国美展、2019年瀬戸内芸術祭、「JAPAN MEETS TIROL」Mieming オーストリア、「バブリッシュ・オブ・ベリッシュ」The Cecille R. Hunt Gallery アメリカ				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程版画専攻分野・後期
講義区分		授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技		版画総合研究ゼミ2	鈴木吐志哉、舒顔	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、4点以上の作品(実習参加による作品を含む)制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。				
【講義概要】				
各自の研究テーマに合わせた作品の制作及び指導。				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留				
【授業の特徴・形式と教員紹介】				
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。				
鈴木吐志哉:1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス、アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展(神奈川県立近代美術館賞)、日本版画協会展(準会員佳作)、飛騨高山現代木版画ビエンナーレ(大賞)、SUVREMENA JAPANSKA G. RAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、(社)日本版画協会会員、版画学会会員。舒顔:ポストデジタル時代の芸術におけるアイデンティティへの認識を研究している。東京藝術大学版画第一研究室 博士後期在籍中、藝大アーツイン丸の内 2021。伊東順二賞、中国成都市パブリックアートコンペティション優勝賞、中国第十三回全国美展、2019年瀬戸内芸術祭、「JAPAN MEETS TIROL」Mieming オーストラリア、「パブリッシュ・オア ベリッシュ」The Cecille R. Hunt Gallery アメリカ				

創形美術学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程		研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程II/GD ／MD・後期
講義区分	授業科目名		担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ1		山本哲次、関根慎一、 上野仁志、都築潤、大石恵美子、澤田泰廣、白石慶子、 村上寛光	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。				
【講義概要】				
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること				
回	授業計画及び学習の内容			
1	～5 制作、個別指導			
6	～10 制作、個別指導			
11	～15 制作、個別指導			
16	～20 制作、個別指導			
21	～25 制作、個別指導、中間チェック			
26	～30 制作、個別指導			
31	～35 制作、個別指導			
36	～40 制作、個別指導			
41	～45 制作、個別指導			
46	～50 制作、個別指導、中間チェック			
51	～55 制作、個別指導			
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導			
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック			
66	～70 制作、個別指導			
71	～75 制作、個別指導			
76	～80 制作、個別指導			
81	～85 制作、個別指導、中間チェック			
86	～90 制作、個別指導			
91	～95 制作、個別指導			
96	～100 制作、個別指導			
101	～105 制作、個人面談			
106	～110 制作、個人面談			
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック			
116	～120 制作、個別指導			
121	～125 制作、個別指導			
126	～130 制作、個別指導			
131	～135 制作、個別指導			
136	プレゼンテーション、合同講評会			
【成績評価方法】				
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。				

創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	研究科 昼間部(1年制)	2023年度	美術進学課程IL／GD／MD・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	デザイン総合研究ゼミ2	山本哲次、開根慎一、上野仁志、林規章、白石慶子	～16単位 408時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
各自の研究テーマに合わせた作品の制作。			
【講義概要】			
1.これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。 2.研究計画書を完成すること 3.受験用ポートフォリオを完成すること			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	プレゼンテーション、合同講評会		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。なお出席が全体の2／3以下の場合は、成績評価の対象外となる。合格:(100～95:A+ 94～80:A 79～70:B 69～60:C) 不合格(59～0:D) 仮処置:保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
山本哲次:1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リソナ銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI、VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会(D-8)JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。			
開根慎一:1961年、神奈川県生まれ。1987年、東京藝術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LDデザイン事務所を経て、1997年、開根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。上野仁志:1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。			
林規章:1964年生まれ。グラフィックデザイナー、女子美術大学教授。広告、音楽、出版、TVなどのアートディレクション・グラフィックデザインに従事。主な仕事に「ブルーノ・ムネーリの本たち」「NHK デザインあ みるほん」「MTV JAPAN」などがある。			
白石慶子:東京藝術大学大学院アニメーション専攻修了。(株)サンライズCGアニメーター勤務後、独立。劇場・TVアニメ『地縛少年花子くん』『ダンガンロンパ3』『暗殺教室』『デジモンアドベンチャーtri』『OP・ED監督。NHKみんなのうた』『日々』監督。			